

令和7年度第3回中央区区政会議における委員からの主なご意見及び区の考え方

分類	主なご意見	区の考え方
地域のつながりの必要性	防災や防犯、見守りなど地域のつながりは重要である。	近年は働き方やライフスタイルの変化により、人との関わり方やコミュニティのあり方が多様化しています。一方で、防災・防犯活動や高齢者等の見守り、子育て支援など、地域で支え合うことが重要な場面も多くあります。中央区では、防災や福祉など身近な課題への取組を通じて、地域住民同士が無理なく緩やかにつながることのできる環境づくりを進めています。また、地域活動の魅力やつながりの大切さを発信するため、広報紙において中央区福祉ビジョンの連載、地域で活動する方や団体、地域行事等の紹介などを積極的に行っています。
	働き方やライフスタイルの変化により、人とのつながりが希薄化している。	
	同じ地域や町会の中でも、住民同士のつながりが弱くなっている。	
	地域以外のコミュニティとの関係も重要ではないか。	
	孤立している人への配慮が必要である。	
中央区・地域の特性を踏まえたつながりづくり	マンション居住者の増加などにより、地域との接点づくりが課題となっている。	中央区は、住宅地、商業地、オフィス街など多様な地域特性を有しており、また9割以上の世帯がマンション等の集合住宅に居住し転出入も多いことから、地域との関わりづくりは重要な課題と認識しています。そのため、防災を地域のつながりづくりの重要なきっかけと位置づけ、マンション防災や地域防災活動を進めるとともに、「防災パートナー」の拡充に取り組んでいます。また、民間団体等との包括連携協定を活用し、地域の一層の活性化を推進しており、新たに一般社団法人大阪青年会議所との連携も予定しています。さらに、外国人住民の増加など地域を取り巻く環境が変化する中、多文化共生に向けた相互理解を重要な課題と捉え、今回の区政会議におけるテーマとしております。
	転出入が多く、地域とのつながりを持ちにくい状況がある。	
	地域によって課題やつながり方が異なる。	
	外国人住民の増加など地域を取り巻く環境が変化している。	
多様な人が参加しやすい地域活動と担い手づくり	地域活動の担い手や役員が固定化している。	地域活動における担い手不足や役員の固定化、負担の集中は、多くの地域に共通する課題であると認識しています。中央区では、町会加入促進アクションプランに基づき、広報紙やホームページ、SNS等を活用した情報発信の強化や、デジタル活用による地域活動の負担軽減を進めています。また、特に子育て世代をはじめとした幅広い世代へ必要な情報を届けられるよう、広報紙の企画・編集のリニューアルや公式LINE（中央区）の登録者数の増加を中央区運営方針の目標に掲げ、イベント開催時の登録促進など具体的な取組を進めています。
	若い世代や新たな参加者が少ない。デジタル活用など新しい参加方法も必要ではないか。	
	子どもや子育てを通じたつながりが重要である。	
	地域活動の情報発信が不足している。	